



《校訓》 自由 責任 協同

勝中だより

ホームページ <https://www.kyoto-be.ne.jp/katuyama-jhs/>

TEL 075-921-1106 FAX 075-921-1107

2月号

令和5年2月1日

向日市立勝山中学校
校長 奥村 久夫

節分 春の訪れです

まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上では3日の節分を過ぎれば立春となります。節分は年中行事のひとつですが、どんな意味があるか知っていますか。

もともと節分とは、年に4回訪れる立春・立夏・立秋・立冬の前日を指す言葉でしたが、いつか、一年の始まりとして大切にされていた「立春」の前日のみを「節分」と呼ぶようになりました。節分は中国から伝わってきた文化で、かつて中国では、疫病をもたらす疫鬼(えきき)を、魔除けの力を持つ穀物で追い払う「追儺(ついな)」という行事がおこなわれていました。



日本へは平安時代ごろに伝わってきたのですが、病気や災害など悪いものはすべて「鬼」の仕業だと考えられていたため、鬼を祓う役人が盾と矛を持って、貴族たちと鬼を追い回す行事となり、その後、鬼を退治する効果があるとされる豆を投げる風習として広まりました。

仏教では、鬼は煩惱や欲望を強く持つ人の心に住み着き、災いのもととなる存在と考えられており、「鬼が住む煩惱や欲望を追い払う」という意味から、節分の豆まきが浸透していったといわれています。

また、節分には炒った豆を使うのが一般的ですが、その理由は、次のような昔話に因^{ちな}んでいます。「人を食べる鬼に、神様が『この豆から芽が出たら人間を食べてもいいが、出ないうちに人を食べたら罰を与える』と言って豆を渡しました。鬼は神様からもらった豆をまくのですが、待っても、待っても芽は出ません。なぜなら、その豆はあらかじめ炒ってあったものだからです。」



他にも「恵方巻き」という太巻きがありますが、それは七福神にあやかっ、7種類の縁起がよい食材を巻いたものです。恵方巻きには「福や縁を巻き込んで食べる」という意味があります。包丁などでカットせず一本丸ごと食べる理由は、幸福や商売繁盛を一気にいただくからだといわれています。

どうでしょうか。節分は「豆をまいて恵方巻きを食べる日」と単純に思っていないでしたか。広く人々に広まっていったのは、「煩惱や欲望を強く持つ人の心に鬼が住み着き、災いのもとになる」そこで新しい年(旧暦)を迎える前に、煩惱や欲望を追い払おうというものなのです。ですから、豆をまいて恵方巻きを食べてもその気持ちがなければ意味がありません。大切なことは自分自身の心の中を振り返り、心に新たな節を作ることなのです。皆さんは新年を迎えて気持ちを新たに、目標を立てたと思います。それからひと月が過ぎた今、すでに目標が絵に描いた餅になってはいませんか。私が皆さんにお願いした目標は「言葉を大切に」です。この学年もあと少しです。もう一度ここままで振り返り、この2月を次年度へ向けてよいスタートが切れる準備期間としてください。

【2月行事予定表】

日	曜日	内 容	部活	給食	日	曜日	内 容	部活	給食
1	水	※完全下校 (17:15)	○	○	15	水		○	○
2	木	お花を植えよう会	○	○	16	木	公立前期選抜	×	○
3	金		○	○	17	金	公立前期選抜	×	○
4	土				18	土			
5	日				19	日			
6	月	第8回学評・専門委員会《部活動停止》	×	○	20	月		×	○
7	火		○	○	21	火	学年末テスト①	×	×
8	水		○	○	22	水	学年末テスト② 公立前期選抜合格発表	×	×
9	木		○	○	23	木	天皇誕生日		
10	金	京阪神私立入試	○	○	24	金	学年末テスト③	×	×
11	土	京阪神私立入試 建国記念の日			25	土			
12	日	京阪神私立入試			26	日			
13	月	《部活動停止》	×	○	27	月	《部活動停止》	×	○
14	火		○	○	28	火		○	○

「学びの深化プロジェクト実施校 ～主体的・対話的で深い学びのある授業づくり～」

本校では令和3年度・4年度の2年間、京都府の研究指定を受け、「主体的・対話的で深い学び」がある授業づくりの研究に取り組んでおり、1月24日(火)にその成果を発表しました。

研究で大切にしてきた「グループでの学習形態の活用」、「生徒が学びたいと思えるような学習課題の設定」、「タブレットの効果的な活用」など様々に工夫した2年生の授業を、多くの先生方に参観いただきました。その後、京都教育大学 植山俊宏教授からも助言をいただきながら、さらに研究を深めました。



PTA主催「人権学習 ～伝えたい想い～」 香道家・かな書家 二條 隆時 氏

これからの社会は多様性の社会であり、答えのない社会となっていく。自分らしく生きていくためには、多様性を受け入れるのではなく、認識することが大切であり、そのためにはしっかりと言葉を学んでほしい。言葉は人を傷つけることもあれば、人を幸せにもできるし、自分を守る盾にもなる。だからこそ自分の言葉をしっかりと身につけてほしいと、これから社会に巣立っていこうとする中学生に対して、とても大切なお話をしていただいたように感じます。



乙訓駅伝の結果！

女子Aチーム

第2位 26分52秒

1区 益田 彩羽 2区 矢澤 朱里

3区 大久保志紀 4区 須田裕紀乃

5区 山田琴々音

☆区間賞 1区 益田彩羽 4分57秒

5区 山田琴々音 5分04秒

